



第1回 世界土壌微生物オリンピック

畑作部門 「金」「銅」 水田部門 「銀」 受賞

これまで定量的に計測できなかった土壌微生物の多様性と活性を数値化し、土壌の生産性を評価する世界で唯一（国際特許出願）の方法により、土壌環境を競い評価する大会において、スーパーERをお使いの3名が入賞されました。

(2015.12.11)

畑作部門	金賞	ER 研究会 豊田支部	板倉鋼次 様
水田部門	銀賞	ER 研究会 坂部支部	大澤静雄 様
畑作部門	銅賞	スーパーER 使用暦8年	正木好次 様



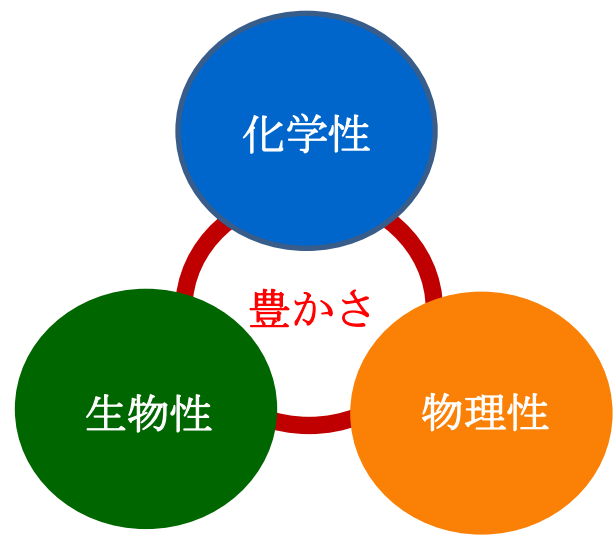
三浦様(正木様代理) 大澤様 板倉様

このような名誉ある賞を受賞されたのも、皆様の土作りへの情熱とこれまでにスーパーERにより数々の驚異的な結果を出してくださいました多くの実践者の皆様、そして応援して下さる全ての方のお力添えによるものです。

サンルート一同、心より御礼申し上げます。

◆土壌の豊かさの基準

これまでは化学性（pH、窒素、リン酸、ミネラル、腐植など）と物理性（粒状、硬度、水はけ、水もちなど）が土壌の基準でしたが、これからは化学性と物理性に加え、生物性（微生物、小動物など）のバランスが、今後の土壌の豊かさの基準となると言われています。



◆「土壌微生物多様性・活性値」とは？

微生物群集の有機物分解能力の多様性と高さを数値化したもので、土壌の生物性を客観的に評価する、世界で唯一の評価法です。国や県の20年にわたる研究をもとに、株式会社DGCテクノロジー社によって開発されました。

日本の土壌の平均的な土壌微生物多様性・活性値は約79万（偏差値50）で、100万を超えれば生物的に豊かであると評価できます。

◆受賞者の評価

			値	偏差値
畑作	金	板倉鋼次	1,903,473	80.9
水田	銀	大澤静雄	1,318,319	64.8
畑作	銅	正木好次	1,513,485	70.9

◆「土壌微生物多様性・活性値」との関係

土壌微生物多様性・活性値	高い	低い
連作障害	起こしにくい	起こしやすい
病気の可能性	低い	高い
土壌状態	柔らかい	固い
根の発達	良い	悪い
硝酸態窒素残留	残りにくい	残りやすい
肥料・ぼかし	化学肥料 少ない	化学肥料 多い

J-80001-5
2015.12.24 作成